

第 34 回兵庫県医療審議会保健医療計画部会 議事概要

- 日 時： 令和 2 年 9 月 25 日(金)14:00～15:30
- 場 所： 兵庫県医師会館 6 階会議室
- 出席委員： 足立 光平 (兵庫県医師会副会長)
飯島 一誠 (神戸大学大学院医学研究科教授)
臼井 里佳 (兵庫県愛育連合会会長)
大西 行美 (兵庫県消費者団体連絡協議会 常任理事)
笠井 秀一 (兵庫県薬剤師会会長)
守殿 貞夫 (兵庫県病院協会会長)
榊 由美子 (兵庫県栄養士会会長)
澤田 隆 (兵庫県歯科医師会会長)
布澤 良則 (全国健康保険協会兵庫支部総務部長)
太城 力良 (兵庫医科大学理事長)
西口 久代 (兵庫県看護協会常務理事)
西 昂 (兵庫県民間病院協会会長)
登里 倭江 (兵庫県いずみ会会長)
浜上 勇人 (兵庫県町村会理事・香美町長)
深井 光浩 (兵庫県精神科病院協会会長)

- 欠席委員： 島 正之 (兵庫医科大学教授)
平田 健一 (神戸大学医学部附属病院院長)

● 次 第

1 開 会

2 兵庫県健康福祉部長挨拶

3 議事と結果

(1) 議決事項

① 兵庫県保健医療計画の中間見直しについて

本案で示された見直しの方向性を踏まえ、今後も検討を続けていくことで一致。

② 令和 2 年度医療機関再編統合等推進事業について

再編統合に係る一般的な病床の増減だけでなく、感染症対策について、現時点での状況を踏まえた対応をとることを検討するよう、意見を付した上で承認。

(2) 報告事項

① 保健医療計画の進捗状況について

令和元年度の保健医療計画の進捗状況について、別添資料のとおり、現在の数値目標に対する評価と対応策について示しつつ、特に目標数値より現状の値が悪化している5項目については、詳細に状況を報告。

② 地域医療構想の推進について

資料により、地域医療構想実現に向けた、各圏域での取組状況を報告。

また、令和元年度病床機能報告結果について、平成30年度と比較しながら状況を報告した。

今後については、圏域毎の状況も鑑みながら、病床機能転換等を推進し、病床機能の分化・連携を図る方針であることを報告。

4 議決事項についての主なやりとり

○議決事項(1) -①について

(委員) 今後、病院の再編統合を進める際には、動線の分離等、感染症に強い設計にする等、一から十分な議論がなされるよう徹底していただきたい。

(委員) 現時点においては、感染症病床を、病棟単位でしか見ていないことが課題だ。特に、新型コロナウイルスの重症患者の対応については、例えば、病床数が20の救急救命センターの10床で重症患者を診ている場合に、残り10床で救急患者を診たいが、この場合は感染症病床としては認めてもらえない。つまり医療資源に無駄が生じている。感染症病床の設置に際しては、一般医療とのフレキシビリティも考慮した考え方を検討する必要がある。

(委員) 精神科病院は、病院の構造上(閉鎖病院等)、非常にクラスターを起こしやすい。大阪府で50名近く、神奈川県で30名ほどのクラスターが発生した。もちろん院内には感染症の専門医もいなく、閉鎖した状態の中で、マスク等の着用を指導しても、なかなか着用してくれないような患者がいる中で、感染症対策を図っていくことは非常に難しい。そのため、安静を保てない患者についての対策について県立病院を中心に、引き続き検討を続けていただきたい。

(事務局) 精神科や認知症の課題については、現在進行形で対応しているところです。そういったことを、どこまで計画に書き込めるのかということは、検討させていただきたいと考えている。

(事務局) 今日いただいたご意見をすべて踏まえて、今後検討を進めて参りたい。また、目下の感染症コロナ対応への取り組みにも生かしていきたい

(結論)

本案で示された見直しの方向性を踏まえ、今後も検討を続けていくことで一致。

○議決事項 (1) -②について

(委 員) 再編統合で新たに病院を造るのであれば、昨今の新型コロナウイルス等の感染症に対してもしっかりと対応できる動線等を確保した設計にしていきたい。

(委 員) 新型コロナウイルス感染症の拡大に際して、他の疾患等で入院した際にも、家族以外は面会できない等、家族・患者ともに本当に不安がたくさんあったと聞いている。そのようなことも踏まえた体制作りをお願いしたい。

(委 員) 地域医療構想調整会議等では、地域医療構想を念頭に置いた病床数の数あわせだけの議論だけではなく、感染症対策等についてもしっかりと議論がなされるようにしていきたい。

本事業についても、募集の段階から、前述のような条件を付記することが望ましいと考える。

(事務局) 地域医療構想の当面の取組の方向性について、9月の中旬に各圏域の地域医療構想調整会議の議長宛に通知をしたところです。その中で、今般の新型コロナウイルス感染症対策において、各医療機関が果たしてきた役割等も踏まえつつ、地域の実情に応じた検討を引き続き行ってほしい旨、総括的にはお願いをしているところです。

(事務局) 本事業については、今年度の募集要綱に、委員ご指摘のような、感染症対策に関する要件は記載していないため、要件を後から追加するというのは難しいところがありますが、保健医療計画の中間見直しには感染症対策に関する視点を書き入れて参りますし、本事業についても、来年度の募集からは、感染症対策に関する要件を書き入れて参りたいと考えている。

事務局といたしましては、医療機関の感染症対策に資する動線確保や患者への配慮というような要件を盛り込むよう部会意見を付した上でご承認いただきたく考えている。

(結 論)

再編統合に係る一般的な病床の増減だけでなく、感染症対策等、現時点での状況を踏まえた対応をとることを検討するよう、意見を付した上で承認。

以上